

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度 岐阜県立岐南工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年11月 2日(水) 10時 ~ 12時
- 3 開催場所 岐南工業高等学校 校長室
- 4 参加者 学校運営協議会委員

会長	山口 禎一郎	山口鋼業株式会社 (欠席)
副会長	後藤 潤一	塩谷建設株式会社
委員	磯野 靖彦	(株)濃尾エンジニアリング
	粕谷 幸司	元PTA会長 (令和2年度)
	川口 久義	元PTA会長 (令和3年度)
	柴山 恭子	元PTA副会長 (令和2年度) (欠席)
	正村 美里	岐阜県美術館 (欠席)
	透 千保	アナウンサー

学校側	各務 友浩	学校長
	柴田 祐一	教頭
	新田 雄一	事務長
	福永 繁隆	教務主任
	三輪 照導	生徒指導主事
	東松 宏明	進路指導主事
	野田 政宏	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 文化祭参観(教室、実習棟、体育館)について

(ア) 教室のものづくり展示、体験コーナーを参観

- ・金属を使ったものづくり展示、体験の説明
- ・割り箸を使った細工の展示、体験の説明

(イ) 実習棟でのものづくり展示、体験コーナーを参観

- ・建築工学科(マイ箸・オリジナルコースター)、自動車工学科(新幹線・ワーゲンバス)、電子工学科(輪投げ・課題研究)、電気工学科(電気工事・課題研究)を説明

(ウ) 体育館で書道部パフォーマンスの参観

意見1: 学校行事ができて良かった。体験コーナーで説明にあたる生徒の目が輝いていた。

意見2: 生徒のワクワク感が伝わってきた。

意見3: コロナ禍で、保護者1名のみでの公開であったが、地域の方にも公開できる日が来ると工業高校の魅力を知らせることができる。

(2) 学校からの報告

- ・教務部から「学校アンケート」について説明
- ・生徒指導部から「交通安全」について説明
- ・進路指導部から「進路状況」について説明
- ・工業部から「出前授業」について説明

意見1：出前授業の依頼については、小学校、中学校のPTA からでもできるのか。

⇒連絡を頂ければできる範囲で対応する。ものづくりの楽しさ、工業高校の魅力を発信できる機会があれば、できるだけ取り組んでいきたい。

(3) 第1回学校運営協議会からの動きについて

- ・交通安全について、危険箇所（岐南工業高等学校北、JR 東海道線高架下交差点）への対応は、交通量調査を実施し、道路のカラー舗装や、道路の整備など各機関へ相談した。現在、検討中である。

意見1：本校生徒に限らず、自転車の交通量が多いが道幅が狭く大変危険である。関係機関は事故が起きないと対応はしないであろう。先生方には大変ご苦勞をおかけしている。

- ・生徒指導と進路指導では、ジェンダーについてどうとらえているか質問があったが、今後、女子生徒の入学者増を想定したときハード面の見直しに着目した。そこでトイレの見直しを行ったところ、女子トイレの増設に加え、和式から洋式への変更が急務で有ることが分かってきた。

意見1：生徒も清潔感のある綺麗な洋式トイレを望んでいる。あわせて、トイレの表記について工夫することが必要である。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、主として学校行事の文化祭の参観を行った。コロナ禍で多くの制限があるなか感染対策に配慮し、工夫を凝らし開催したことが見て取れた。見るだけでなく体験コーナーを参観し、「説明する生徒の目が生き生きとしていた」と高評価であった。多くの方に見てもらう機会があれば、ものづくり、工業高校の楽しさを伝えることができるものであった。今後、入学志願者を増やすことに繋がると考えられる。JR 高架下交差点の問題についてはまだ時間がかかりそうであるが、少し前進したことが報告できた。トイレの見直しについては、女子トイレの増設と和式から洋式への改修が急務であることが確認できた。数年後に予定されている本館改修工事にあわせて提案をしていく。

第3回学校運営協議会では、生徒が学習した3年間の集大成である課題研究発表会を見ていただく。

来年度の学校運営計画を含めた運営基本方針について、忌憚のない意見と検討を踏まえてよりよい学校運営を目指す予定である。